



新聞まさひこ通信

あけぼの曙

発行責任者
福岡県議会議員
新開昌彦

福岡市早良区曙 2-1-35

Vol.38 平成 20 年 1 月 2 日発行

今年も現場主義を貫きます。

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、統一地方選挙に続き参議院選挙と大変にお世話になりました。

ありがとうございました。

私は、これまで、生活者の視点で県政を点検し、政策を実現して参りました。

昨年は、「安全、安心まちづくり条例」の制定、周産期医療救急体制の充実、障害者授産施設の工賃向上事業の開始、福祉と労働部門の連携強化の組織改変などを勝ち取ることができました。

今年も現場主義に徹して頑張っています。

一歩一歩着実に



議会報告

四年間訴えつづけた!

「安全・安心まちづくり条例が成立」

公明党福岡県議団が議会で求め続けていた「安全・安心まちづくり条例」が、平成19年12月議会で、ようやく成立しました。

暴力や犯罪のない安全で安心な福岡県をつくるため、行政、警察、教育、県民、事業者などの役割を明確化するとともに、今後、指針の策定や推進体制の整備が進められます。

公明党は平成15年12月議会で同条例の制定を初めて提案して以来、4年間条例の制定を訴え続けました。

「安全・安心まちづくり条例」は、大阪府が第一号。白昼、池田小学校に男が侵入し8人の小学生が殺害された。この事件がきっかけとなり、府は警察や行政だけでなく、地域も企業も皆で知恵をだしあってこの条例を作り上げました。私は、平成16年9月池田小学校に行き、福岡の子ども達のためにも条例を絶対作ると決意を固め帰福しました。

現場の声をよりの確に

「部制条例が成立」

福岡県は平成20年4月から庁内の部局の再編を行うことになりました。

これまで、生活保護・母子家庭・障害者の皆さんの生活支援と就労支援は、部局を越えて連携する必要があり行き届きませんでした。

今議会で福祉と労働の連携をスムーズに行えるよう、福祉労働部を誕生させることになりました。

私は、この再編で行政が、現場の皆さんの声をしっかりと受け止め、効率的な自立支援ができるようになるよう期待しています。

河川を点検し安全を守れ!

12月議会一般質問

福岡県は、330 河川、延長 1911.9 kmを管理しています。

私は、昨年 9 月初旬、城南区にお住まいの方から連絡があり、樋井川を見にいきました。

私が到着した所は、河川に住宅が張り付き、道路にはいつものように多くの車が行き来していました。川にそって見ていくと、大きな土嚢が河床に積んである箇所が目に入りました。一緒に行った方が「河床に穴が開いて道路側に水が入っている。放置すれば陥没する。」と心配されていました。

私は、県に河川の調査依頼をしました。その結果、県管理の河川で河床低下箇所は、629 箇所、延長は、16.642 km、家屋密集地や公共施設が背

後にある所は、23 ヲ所あり、延長は、953mあることがわかりました。

知事は緊急度に応じて対策を打つと答弁。この 23 箇所は、住民の安全のために急いで対応することになりました。

更に、都市部においてはその箇所が増える可能性があるため、監視の目を緩めるな。そのためには、政令市などとの情報の共有を行うべし。また、他県でも同様なことがあるはずなので、全国の河川課長会議の席など国にも情報提供すべし。と質問。

知事は、政令市と国にも情報提供すると答弁しました。

平成20年度予算に要望

公明党福岡県議団は12月20日、麻生渡知事に対し、平成20年度予算編成に対する要望を行いました。要望は110項目。地域防災力の向上や交通事故発生抑制、発達障害の早期発見に向けた5歳児健診の実施、障害者などの就業支援、河川管理計画の策定など、いずれも県民生活に直結したものばかり。麻生知事は、「足で稼いだ実態に基づいた要望ばかり。予算編成に生かしたい」と答えました。

また席上、公明党県議団は、原油価格の高騰に対応するため、緊急要望をしました。

県は早速、中小企業等に対し、相談窓口の設置、資金繰り・金融円滑化策、建設業や漁業・農林業等に対し利子補給や低利融資の創設、生活関連で離島航路やバス路線への補助、石油製品の価格監視強化などの緊急対策を決定しました。



この時間、議会運営委員会で協議していたため私は写真に写っていません。

県警本部長に銃の総点検を要望

この日はさらに、長崎県佐世保市で起こった猟銃乱射・殺人事件を教訓に、銃の保管状況の総点検など実施するよう殿川一郎県警本部長に要望しました。

